

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域循環型山村ルネッサンス事業
対象地域	上山市
活動概要	<p>テーマ 地域の個性を活力に変え暮らしの豊かさが実感できる元快(元気で快適な)山村の再興を目指して</p> <p>課題 山元地区は、古くから林業を基幹産業に森林に依存してきた典型的な山村で、9集落、150世帯、人口438人から成る。国道348号が地域を横断し、山形中心部まで15分程と交通性に優れるものの山間の集落から国道までのアクセスが悪くインフラも未整備なことから人口減少が続いている。高齢者の単身や夫婦だけの世帯の増加が顕著で、70歳以上が人口の40%を超え、さらに、新規就労によって若い人が地域外へ流出しており、いままで集落を支えてきた共同作業や共助互助の仕組みを継続することが困難になりつつあり、総じて地域の力が弱まってきている。 また、地区内唯一の学校である山元中学校が来年3月末で休校となるため、地域づくりの拠点としての再活用が地域の将来を左右する大きな課題となっている。</p> <p>モデル事業で達成実現したいこと 昨年度、山形県地域コミュニティ再生促進事業のモデル地域に選ばれ、住民によるワークショップ「これからの地域づくりを考える会」において課題を抽出、地域づくりの本質を「地域の人たちが安心して楽しく暮らしていくことが大切」という思いを共有した。 そこで、本事業を実施する受け皿を経済的仕組みが確立されている「山元林業協同組合」*を母体として、近い将来の事業協同組合の山村トータル型組織に改良した「山びこ村」の発足を展望しながら産業や文化の地域固有の資源を活かした事業を展開する。 そして、そこで得られた収益を地域の助け合いや支え合い等地域福祉、文化の継承、外との交流などの活動へ還元して、地域の活力を生み出す地域経済循環の仕組みを創り上げ、産業福祉を確立して「小さくともキラリと光り輝く山びこ郷」を再興する。 *「山元林業協同組合」とは、昭和59年に中小企業等協同組合法に基づき、地域住民の80%が出資している事業協同組合で、造林から伐採、製材加工、販売まで一貫した地域林業を実践して地域での雇用を生み出しているほか、山の幸産直や冬季の除雪など暮らしに密着した事業も行っている。森林組合と同様に半ば公共的な立場にあって林業の中核的担い手として山形地方の森林事業の窓口となっている。</p>

<p>今年度の主な取組</p>	<p>活動内容の案</p> <p>① 地域資源を活かしたコミュニティビジネスの取り組み 古来から食されてきた暮らしの知恵と山の幸を巧みに生かした山元固有の伝統食「ごんぱ餅」*を伝承し特産品化を図るため、マーケティングについて調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 原料(オヤマボクチ)の安定確保のため自生地手入れと人工試験栽培 ■ 商品製造体制構築のための競合商品の加工施設実地調査 ■ 商品の宣伝PRと実験販売 <p>*「ごんぱ餅」とは、山地に自生する植物オヤマボクチの葉の綿毛を練り込んだ餅。</p> <p>② 休校学舎の活用と助け合い、支え合いの仕組みづくり 生活綴り方記録で文庫本と映画化された名作「山びこ学校」*の舞台となった学舎について、産業と文化と福祉とが融合した機能を想定した複合施設へ転用を図るため、活用実現性と実施計画策定について調査する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 再活用のため高等教育機関等に対する利用意向調査 ■ 公民一体的な山びこ学校活用検討委員会 ■ 既存の共助互助慣習の現状調査 <p>*「山びこ学校」とは、山元村の実像と山元村中学校の生活綴り方教育を記録した学級文集で昭和26年に出版されベストセラーになった。学び(教育)と向学心によって自立する理念が謳われている。27年に今井正監督によるノンフィクション映画化、東北の寒村生活の厳しさに負けずに学ぶ生徒たちと見守る教師の温かい交流を描いている。</p>
<p>活動結果</p>	<p>これまでとは異なり、行政や外に依存しない、人を当てにしない、人任せにしない、自立的な地域づくりの途は自分たちで考え自分たちで切り拓こう、という意識に転換されてきており、実際活動に現れている。山びこ村においては、この活動を通して、自立心の高いリスクを恐れない積極性のあるリーダーも育っている。</p> <p>また、地域の本気が内にも外にも伝わっていることから、行政側の積極的な後押しや支援が行われている。</p> <p>取り組みはまだ小さいものの、地域に自信を与えたことが何にも勝る一番の収穫である。</p>
<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>「ごんぱ餅」にとどまらず、餅や蕎麦や山菜を使った山村産業の積極的な取り組みも波及的に提案されている状況であり、これからの展開が期待される。</p>

実施状況(写真)



【写真:左】「ごんぱ餅」の試作試験の実施状況

【写真:右】「山びこ学校活用検討委員会」の実施状況

応募団体名

山びこ村

リンク

部局/担当者名

山びこ村 山元地区公民館 工藤定義

連絡先

TEL:023-675-2311

推薦市町村名

上山市